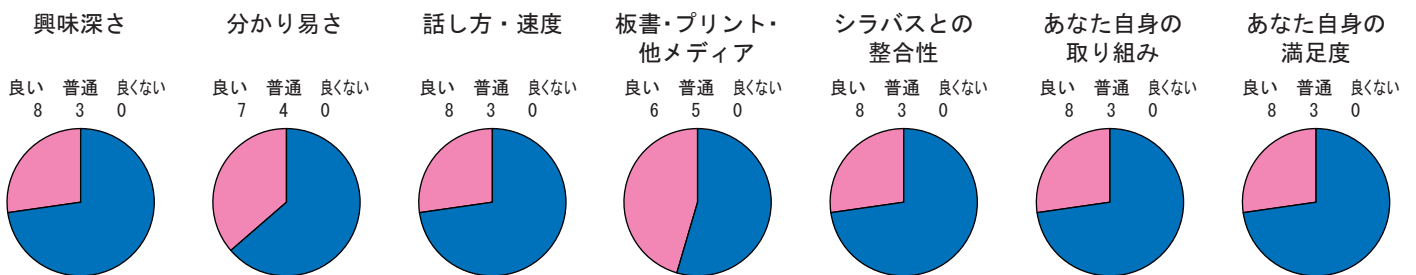


平成15年度1学期 生物学類授業評価

「応用生物化学実験Ⅲ」

回答者数：11名 履修申請生物学類生数：17名 (回答率64%)



良かった点

- ・ どのような意図で実験しているのかが、分かるように組まれていたのでよかった。
- ・ とても興味深い実験が多くておもしろい。
- ・ 教官が指示を出すのではなく、学生が自分で考えて実験を行える点。
- ・ たくさんの実験を経験できたこと。
- ・ 実験器具の扱いになれたことと、放射性同位体を用いた実験を行うことが出来た点。
- ・ とても丁寧な指導でわかりやすかった。お世話になりました。
- ・ 説明がわかりやすかった。実験書がまとまっていてわかりやすかった。

改善すべき点

- ・ レポートの提出期限が前倒しになったので、それは予定が狂うのでやめてほしい。
- ・ 週4回は負担が大きい(ここまで大変だとは思わなかった)。
- ・ 分析機器が満足に使用できなかった。
- ・ 機器分析のところで、機械が壊れて測定できなかったのが残念です。
- ・ 特に無し。
- ・ 前半でレポート提出が早まったのが不満でした。

担当教官のコメント

応用生物化学実験は生化学の分野で必要とされる基礎的実験技術、およびそれらを実際の生物材料を用いた生命の理解に係る研究へ応用しようとする際の基礎的な技術の修得を目的としています。その中で本実験は有機合成、機器分析、物質の生体内挙動解析、動・植物材料を用いた生物活性検定や酵素への影響の試験で構成されています。受講生には時間と労力の両面で負担が大きいかもしれませんが、担当者は将来役に立ち、受けてよかったと思ってもらえるような実験を目指しており、受講生もそれを感じ取ってくれているように思います。指摘のあった点は配慮します。